

事業シート(1)

1 事業番号	- 4	事業名	まちかど子育てサポートルーム運営事業
--------	-----	-----	--------------------

位置づけ	2	所 管	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成	課	
	3	審査会での対象分野	次代を担う子どもを健やかに育みます			4	根拠法令	児童福祉法第21条の9	
	5	関連する事業	所属名	事業名					
			子ども育成課	地域子育て支援センター事業					
			子ども育成課	子どもルーム事業					

事業概要	6	事業年度	開始 平成15年度 ~ 終了 年度 (終期を定めていない場合は開始年度のみ)						
	7	事業の背景 (実施の経緯)	核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育てが孤立化し、子育てに対する不安感や負担感が増大する中、平成14年度に創設された厚生労働省所管の「つどいの広場」事業にもとづき、平成15年度から本事業を実施している。(平成15年度:堺・西区、平成16年度:中区、平成17年度:南区、平成18年度:北区、平成20年度:東区、平成21年度:美原区で実施)						
	8	事業の目的 (何のために)	子育て中の保護者の子育てへの不安や精神的負担感を軽減し、安心して子育てができる環境を整備し、地域における子育て支援の拡充を図る。						
	9	対象者 (誰・何を対象に)	就学前児童とその保護者	10 対象地域	<input checked="" type="checkbox"/> 全市事業(全市的に実施) <input type="checkbox"/> ()区で実施				
	11	事業の実施方法 (複数選択可能)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他()	直接実施以外の場合の支出先 子育て支援活動の実績がある特定非営利活動法人			
12	事業内容 (手段・手法など)	子育て中の不安や負担感が軽減できるよう、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流できる場を提供するとともに、地域の身近な子育て支援情報の発信を行う。 運営については、特定非営利活動法人へ委託(3年に1回、プロポーザルを実施)							

コスト	13		事業費 (千円)	主な内訳 (千円)	人件費 (千円)	総事業費 (千円)	
		20年度(決算)	43,029	運営委託料:40,378千円 工事請負費:2,496千円 その他:155千円	5,265	48,294	
		21年度(決算見込)	45,607	運営委託料:40,519千円 工事請負費:4,237千円 その他:851千円	5,265	50,872	
	22年度(予算)	46,915	運営委託料:44,379千円 備品購入費:2,100千円 その他:436千円	5,265	52,180		
	14	22年度予算	人件費内訳		事業費内訳(千円)		
		従事職員数(人)	人件費(千円)	国・府支出金	市債	一般財源	その他(受益者負担)
	正規職員	0.55	4,675	15,345		31,570	
	非正規職員	0.20	590				

15	自由記述欄 (1~15を補足する特記事項等)	13の人件費は、従事人工数による概算人件費とする。平成22年度の事業費は、AED設置のため、臨時的経費を計上している。
----	------------------------	---

事業シート(2)

事業番号	- 4	事業名	まちかど子育てサポートルーム運営事業
------	-----	-----	--------------------

16	活動指標 (実績)	指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠	
		設置箇所数	か所	目標	6	7	7	堺市次世代育成支援行動計画(現堺市子ども青少年育成計画の目標数値)
				実績	6	7	7	
	達成率	100%	100%	100%				
			指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠

17	効率指標	(単位あたりコスト(総事業費/活動指標))	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
		総事業費/設置箇所数	千円	8,049	7,267	7,454	
		総事業費/年間利用者数 H20年度:56,695人 H21年度:52,368人	円	852	971	-	

18	成果指標	指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠	
		平均利用者数 (1か所あたり)	人/日	目標	60	60	60	事業開始時に他都市の状況等を参考に設定
				実績	50	46	46	
	達成率	83%	77%	77%				
			指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠

【その他】 数値以外の成果があればご記入ください。

19	達成度評価	活動評価	A (80%以上) B (50%~80%) C (50%以下)	総合評価	A・B・C		平成21年度については、新型インフルエンザの流行等の影響により利用者が減少したが、事業開始以降、平均利用者数は順調に増加し、概ね50人程度で推移しており、区域の子育て支援施設としての機能を一定果たしていると考えられる。
		効率性	A (向上) B (現状維持) C (低下)				
		成果評価 (効果性)	A (80%以上) B (50%~80%) C (50%以下)				

20	比較参考値 (政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)	【政令指定都市の状況】 本事業の方向性を検討するための他市の状況を記入ください。					
		平成21年度 地域子育て支援拠点事業実施箇所数(センター型+ひろば型)					
		札幌市	20か所	浜松市	88か所		
		仙台市	25か所	名古屋市	51か所		
		さいたま市	47か所	京都市	37か所		
		千葉市	18か所	大阪市	97か所		
		横浜市	84か所	神戸市	13か所		
		川崎市	21か所	岡山市	22か所		
		相模原市		広島市	6か所		
		新潟市	35か所	北九州市	13か所		
静岡市	17か所	福岡市	14か所				
【国等の基準との比較】							
【必要に応じて近隣市の状況をご記入ください】							

事業シート(3)

事業番号	- 4	事業名	まちかど子育てサポートルーム運営事業
------	-----	-----	--------------------

21	事業の必要性 A	A	有	(理由)
		B	無	子育て中の親子が気軽に交流したり、育児に関する悩みを相談できる場を提供することで、子育て家庭の孤立化を防ぎ、虐待の早期予防等にも資することができるため。

22	実施主体の妥当性 A 事業主体の妥当性 b	A	市が実施	(理由:「市が実施」とした場合は、同種事業における民間等の状況も明記)
		B	民営化	支援員が常駐する常設型の同種事業は、民間等では実施していない。
C	その他()			
a	市で直接実施	(理由)		
b	全部民間委託	子育て支援の活動実績のある特定非営利活動法人等の専門的な能力やノウハウを活用するため。		
c	一部民間委託			
d	市民協働			
e	その他()			

23	事業の評価 (実施事業の方法、内容等について、事業の目的合致性、効果性、効率性、社会変化への適応性等から現状の課題及び評価を記入下さい)			
	<p>イベントやプログラムの実施において、団体の持つ専門性やノウハウの発揮により、利用者の満足度は高い。(下記特記事項等参照)</p> <p>地域における子育て支援の拠点について再構築する中で、地域子育て支援センターや子どもルームとの機能及び役割分担を明確にする必要がある。</p> <p>また、運営内容の拡充についても検討する。</p>			
A	A	拡充	(理由:「改善」とした場合は改善内容も記入下さい)	
	B	現状どおり	これまでの運営内容に、広く子育て中の親子を対象とした講座事業や対象者を限定した親子の交流事業など、従来市が直接行っていた事業の一部を加え、団体の持つ専門性やノウハウを活用していきたい。	
	C	改善		
	D	縮小		
	E	廃止・終了		
	F	その他()		

24	縮小または影響止した場合	(影響の内容)			
		<input type="checkbox"/> 市民の生命や財産に影響する <input checked="" type="checkbox"/> 市民の日常生活(衣食住)に影響する <input type="checkbox"/> 市民の生命や財産、日常生活には影響しないが、他に影響する <input type="checkbox"/> 市民には直接影響しない <input type="checkbox"/> その他()			
		(影響の出方)			
		<input type="checkbox"/> 影響がすぐさま出る <input checked="" type="checkbox"/> 影響が出る <input type="checkbox"/> 影響がすぐには出ない <input type="checkbox"/> その他()			

(特記事項等)

25	<p>[保健センターでの1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に実施(平成22年2月~3月)したアンケートの抜粋]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しそうに遊ぶし、親同士の情報交換ができる。 ・月齢が近い子どもと接することができる。親同士でいるんな話ができよい。リフレッシュできる。 ・近所の方と知り合え、お友達ができた。 ・子どもだけでなく、自分自身にも友達ができ、子育ての悩みを共感しながら相談できるようになった。 ・家にはないおもちゃがあり、安心して子どもを遊ばせることができる。 ・よく泣く子でしたが、スタッフの方々と気軽に話し(相談)ができ、とても助かりました。 ・短時間利用するだけでも、気分転換になる。 ・居心地がよかった。 ・たくさん子どもがいる中で遊ばせることができ、子どもにとってとてもよいと思う。
----	---